

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104100
法人名	有限会社 ウェルケア
事業所名	グループホーム 陽だまりの家
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町4880番地15 (電話) 099-295-7240
自己評価作成日	令和4年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

(1) 各利用者様のかかりつけ在宅医と密に連携をとり、ご本人様・ご家族様が望まれる医療を受けられるよう施設看護師を中心にバックアップ体制を整えている。

(2) 地域の他介護施設やケアマネージャーと協働し、在宅復帰に向けてのご支援も可能である。

(3) 施設内外での勉強会の実施や、職員の資格取得を支援することで、ケアの質の向上に努めている。

(4) 栄養士が献立を作成し、日々の栄養管理を行っている。季節を感じて頂ける食事や菓子の提供に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、静かな住宅地の中にあって、周辺は畑が広がり、地域の方々からの野菜の差し入れも多い。近くにスーパーマーケットや郵便局・銀行等があり、便利の良い場所にある。
- ・理念を基にして各職員で年間の目標を作成し、1年後、個別に進捗状況を提出、面談をして理念の意識付けを強化している。
- ・入所前のかかりつけ医が主治医となっている事から、利用者や家族の医師への信頼関係が継続されている。協力医療機関やかかりつけ医とも、事業所の看護職員や管理者を通して24時間医療連携体制が取れている。
- ・管理者は職員の個人的な相談にも日頃から応じられるように時間を設けている。勤務体制についても職員の働きやすい環境づくりを第一に考えた体制となっている。
- ・利用者の自立を理念としている事から、残存機能を活かすように、ケアの中に歩行訓練等を取り入れたり、利用者と一緒に考えながら自立に向けた支援をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有と実践の為、理念の勉強会も実施し、抽象的になりがちな理念を具体的なケアとして結びつけるよう努めている。	理念は玄関口・フロア・トイレ等に掲示し、パンフレットにも掲載している。年1回全職員に理念を基本にした目標を文書で記入してもらい、個別面談で振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日頃の散歩や行事食のお裾分け、回覧板のお届け等を通じて交流を持ち、野菜などを頂くこともある。※コロナウイルス感染予防の為、現在積極的な交流は控えている。	自治会に加入し、回覧板から情報を得ている。看護学生の実習を受け入れている。地域の駅伝の応援等へ出かけている。地域の方々からの野菜の差し入れがあり、散歩の際に挨拶をする等交流がある。地域のグループホーム管理者と電話等で情報交換している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々の身近な相談窓口となるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染予防のため、会議は縮小しているが、町内会長町や民生委員と定期的な意見交換を行っている。家族参加がないことが課題である。	会議はコロナ感染予防の為、2ヶ月に1回内部のみで開催し、利用者の活動状況や生活状況等を文書にして関係者へ郵送したり、町内会長や民生委員に持参して意見等を聞いて支援に活かしている。管理者から町内会長へ日頃から電話で連絡を取り合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>生活保護や介護認定の手続き等で頻繁な行き来がある。</p>	<p>入所者の相談や介護保険の手続き等で窓口に出向いている。生活保護課からの訪問もある。介護相談員の訪問も受け入れ体制は出来ている。研修はリモートで参加し、その後勉強会も行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会が中心となり、勉強会やアンケートによる意識調査を実施している。パーソン・センタード・ケアを全ての職員が基本として、命に関わらない限りは行動制限はせず、利用者様の心身に拘束のないケアに努めている。</p>	<p>身体拘束廃止に関する指針があり年4回委員会を開催している。職員が個別に書いた意見やアンケートを基に、毎月ユニットの責任者が勉強会を実施している。事務所にスピーチロックの資料の掲示があり、日頃から意識している。日中の施錠はせず、見守りを徹底している。外出希望者は、周辺を散歩しながら話を聞くようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する勉強会やアンケートを実施している。特に言葉による暴力や身体拘束に注意喚起し、理念にも組み込んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>利用者様の必要性に応じて制度を活用出来るよう支援し、職員全員が、利用者様にとって一番身近な権利擁護者である自覚を持つよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に至るまでの過程を通して、不安や疑問点がないかを尋ねその都度話し合いを行い、納得して頂いた上で契約・解除をしてもらうようにしている。 (※体験デイ等はコロナウイルス感染防止の為中止)。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナウイルス感染予防のため、ご家族の面会は玄関先での短時間面会としている。また、電話等でご要望等窺い、アンケートも実施。利用者様御本人から直接意見や不満をお話して下さることも多く、すぐに会議での検討・ケアの改善を行なっている。	利用者からは日常のケアの中で希望を聞いている。家族からは窓越し面会時等に話をしたり、医療機関受診の報告や必要時に電話で話をしている。毎月の様子を写真付きで郵送した際に意見を聞いたり、職員の接遇や食事について等、アンケートを記入して貰っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	※コロナウイルス感染防止のため密室・多人数でのミーティングは中止。日常的に職員の不安や疑問、意見等を話せる場を作っている。一人一人の意見を大切にし、チームとして一致団結してケアに望めるように努めている。	管理者は個別に意見や相談等を聞く場を設けている。勤務に対する相談等が多く、管理者や各ユニットの責任者が話し合いを行ない、要望や意見について取り入れるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休みの受け入れや福祉用具等の購入等による心身の負担軽減に努めている。又、個別で愚痴や悩みを話せる場も設けている。頑張った職員がそれに相応しい報酬をを得られる仕組みを設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員に学べる機会をつくり、更にやりがいや自信を持って働いてもらえるよう、資格取得に全面協力している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>※コロナウイルス感染予防のため、交流の場への参加は中止している。感染対策を行なったうえで、同業者との短時間の意見交換は随時行い、サービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用に至るまで御本人と直接お話する機会を必ず設け、不安や要望等を受け止める努力をしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用に至るまでにご家族と直接お話する機会を設けて希望や要望等を受け止め、共に協力して利用者様の生活を支えていけるような関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者御本人・ご家族が個々に求める支援とグループホームとして提供できる支援（地域の協力機関を含め）を見極め、その時々々の状況に応じて対応して行けるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>重度であっても、認知症ケアは決して一方的に施されるものではないと肝に命じ、相互に思い合い、同じ目線・同じ立場にたったケアに努めている。利用者様から学び、教えて頂ける場面を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の現状を毎月のお便りやメール、来訪時等にご家族へお知らせしている。※コロナウイルス感染防止のため、外出・外泊は中止。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	※（現在コロナウイルス感染防止の為玄関先でのみ対応可）馴染みの人達との関係が途切れないよう、ご家族様・利用者様へ確認したうえで対応している。	面会時に家族に生活状況等を話している。電話の取次ぎも行っている。2ヶ月毎に訪問美容があり、ヘアカラーやカットをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を日々の生活の中で把握し、場合によっては職員が間に入りより良い関係を築いて頂けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等で止むを得ず契約が終了した場合等、相談員を通してフォローを続け、ご希望があれば、再入所や他サービスの案内も随時行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	以前の暮らしと変わらず、なるべくご本人の希望に沿った生活が出来るように支援している。困難な場合は、ご本人と話し合いをし、検討するように努めている。	日常の会話から思い出話を聞き取ったり、1対1で話せる入浴時、散歩時、寝る前の時間に思いや意向を聞いている。表情や仕草等や個々の人生歴をまとめた情報書等を参考に把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に基本情報はサマリー等を通し把握している。又、ご家族からお話を伺ったり個々の人生歴をまとめた情報書を作成し、コミュニケーションに生かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	施設側のスケジュールを押し付け過ぎないように、個々人の過ごし方を尊重している。心身状態については日々検討を繰り返し、職員間で情報交換・共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日変化する心身状態に伴って生じてくる課題について、経過観察及び検討を行っている。ご本人様や家族の思い、各職員にみせる多面的な感情や行動をまとめあげ、それを元にチーム全員で検討を重ね介護計画を作成している。	本人や家族の意見や意向をもとに主治医や看護師等の意見を参考にし、全職員で情報を出し合い介護計画を作成している。毎日状況確認を行い、モニタリングを月1回実施している。見直しは6ヶ月又は状況変化時に実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別記録を記載し（検討事項については詳細な記録を徹底し、必要時は別途アセスメント用紙に記録している）職員は利用様の状態や情報の共有をしている。個別記録等を元に、定期的なケアの見直しを行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	在宅医療や訪問歯科診療、訪問薬剤管理指導等を利用し、多機能性を活かし出来るだけ御本人やご家族の要望に応じた支援が出来るように努めている。※現在、コロナウイルス感染防止の為、利用サービスは縮小している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	教育機関と協力し、小中学校の職場体験の受け入れ、ボランティアさん等に来て頂く等し、外部の方々と協働し支援を行っている。※現在、コロナウイルス感染状況を踏まえた上で、外部からの受け入れ一部再開している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を大切にし、出来る限り、入所前からのかかりつけ医に継続して見て頂けるよう支援している。様々な医療機関との連携が、職員の学びの機会にもなっている。	入所前の主治医をかかりつけ医としている方が多い。受診は家族の同行を基本としているが、職員が同行する場合もある。協力医療機関は24時間体制がとれている。職員の看護師が各主治医から指示を受け対応している。皮膚科や歯科の訪問診療も実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の看護師や薬局の薬剤師等に気軽に相談しながら、利用者様の健康管理について意見交換を行なっている。施設内では、看護職員が医療知識や手技の指導を行い、学びの機会を設けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報書を提出するだけでなく、利用者様の入院時は出来るだけ職員も付き添い、直接看護師に利用者様の日頃のご様子等を伝えている。入院後は、定期的に来院し情報交換を行い、対応の仕方等を事前に把握しておくように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>かかりつけ医に終末期について説明を受け、ご家族にも定期的にお話をして意向を確認している。又、全員で方針を共有し、最期までその方らしく過ごせるよう、医療機関・ご家族と協力してターミナルケアに努めている。</p>	<p>入所時に説明を行い、同意書を記入して貰っている。重度化の場合は主治医より家族へ段階的に説明し、管理者を交えて家族の意見を聞きながら方向性を決めている。コロナ禍でもこれまでどおりの環境で看取りの実施に向けて職員と協力体制を作っている。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応については看護師が指導を行いマニュアルも作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対応手順を掲示し、職員へは災害時対応マニュアルを配布している。又、家族や民生委員と共に定期的に避難訓練を行い消防署の指導を受けている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。1回は消防署の立ち合いでマニュアルに沿って講義や消火訓練等を実施し、1回は夜間を想定した避難誘導訓練を自主訓練として実施している。業者による設備点検も定期的に行っている。緊急連絡網に町内会長が入っている。備蓄は米、水、レトルト食品、缶詰、乾麺等を、カセットコンロ、手作りの防災頭巾も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的な言葉遣いについて指導や意識調査、個々人の誇りやプライバシーに配慮したケアを実践している。個人情報については事務所で管理し適切に扱っている。	虐待やプライバシーについて等、日頃の勉強会の中で徹底している。特に言葉遣いについて徹底している。入室時のノックや声掛け、入浴やトイレへの誘導時の声掛け等、人権や羞恥心への配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どんな事でも、必ずご本人と相談し、話し合った上で決定している。普段からご本人がどのような思いや希望を持っているかを知り、その意向に沿えるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のご意向に合わせて生活出来るよう常に心がけ、決して職員側のペースで行なわないよう努めている。職員が焦らずゆとりを持ってケアを行なえる環境も出来ている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に移動美容室に来てもらい、カラー・パーマ等も希望に応じてして頂いている。爪切や髭剃等の整容チェックは毎日行ない、好みの衣類を着られるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、下膳や調理の下ごしらえ、食器洗い等をして頂いている。献立は利用者様の好みを反映出来るよう心掛けている。	栄養士が献立を作成し、職員が調理をしている。利用者の嗜好調査を行い、食事形態や代用食等に配慮している。おせち、敬老会、クリスマス、誕生日等の行事食やケーキを手作りしている。下膳、食器洗い等、個々に応じて行っている。食事の時は音楽を流して楽しい雰囲気づくりをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月体重管理を行い、栄養士に献立作成を依頼して栄養バランスのとれた食事を提供している又、個々の排泄量を考え、必要量の水分を摂っていただくようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一日4回の口腔洗浄を基本として個別支援を行い、口腔内の清潔や誤嚥性肺炎の予防に努めている。必要な方は定期的に歯科検診を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄リズムを把握し、排泄の失敗等を減らせるように努めている。出来るだけオムツ等は使用せず、御本人と相談しながら、一人一人の心身の状態にあった支援を行っている。	介護記録簿の中に排泄チェックを記入している。日中はトイレへ移動しての排泄を促したり、時間ごとにトイレへ誘導して排泄の失敗を減らす努力をしている。入所時はオムツ使用だった利用者が、入所後短期間でリハビリパンツに改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品を多く摂って頂き、水分摂取量にも注意している。日中も適度な運動を支援し、散歩や生活リハビリに取り組んで頂いている。腹部マッサージ等も行なっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日や入浴時間はある程度決められているが、出来る限りその方の希望に添えるよう努めている。入浴日以外は希望があれば清拭や足浴等で対応している。	入浴は夏場は週3回、冬場は週2回の午前中を基本としている。希望に応じてシャワー浴も行っている。入浴拒否者は職員や時間を変更し、声掛けを工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の習慣に合わせ、適度な休息をご支援しながらも、活動的に過ごせるよう心がけている。夜間は音や室温、照明等に配慮し、穏やかな気持ちで眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関する勉強会やアンケートを実施している。誤薬を防ぐ為、担当者だけでなく職員全員が責任を持って服薬確認を行うシステムを作り徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月1～2回はイベントを企画し、楽しんで頂けるよう支援している。又、生活歴に合わせて炊事や塗り絵、散歩等好きな事をして頂ける時間を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	※現在はコロナウイルス感染防止の観点より、散歩や病院受診等の已む得ない場合以外の外出等は中止している。	周辺の散歩に出かけたり、広い庭に出て外気浴や日光浴を行っている。医療機関受診時の帰りに希望に応じて、自宅周辺へドライブしたり、車の中から景色や墓の様子を見たりして和んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持や使用については制限等なく、希望があればご家族と相談の上対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば、自由に電話のやり取りをして頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花々や絵、その月の合わせたレクレーションを取り入れ五感で季節を感じて頂けるように支援している。又、不快な音や臭い等にも配慮し、心地よく安心して生活できる環境作りに努めている。	日当たりがよく、カーテンやすだれを利用して遮光対策をしている。空気清浄機・加湿器・温度計・湿度計を配置して換気を徹底している。行事や花等の作品をホールの壁に掲示して、季節感を出している。テレビ・テーブル・椅子・ソファ等を置き、落ち着いた雰囲気づくりができています。台所は対面式で、家庭的である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間では自由にお好きな場所で過ごして頂けるようにしている。又、気の合う利用者様同士がどこでもゆっくり語り合えるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>身の回りの物は出来るだけ長年愛用されてきた物を使って頂きご家族からのお手紙やお好きな絵・写真等を飾るのをお手伝いしている。毎日の清掃及び定期的なリネン類の交換も実施している。</p>	<p>居室はエアコン・電動式ベッド・タンス等の設置がある。自宅から使い慣れた寝具類・テレビ・ラジオ・家族の写真・仏壇・タンス・歌手の写真等を持ち込み、寝具の交換等は職員と一緒にいき、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その方に合わせて必要な所に大きな字で札をかける等の工夫をしている。又、その方の力を見極め、出来ることは極力手伝わないように徹底している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない